



殷鑑遠きに非ず

半年ぶりで、ヒトラーの演説

歯幾又は破壊した武器の數は

その中で吾人が以

つて他山の石となさねばなら

を販じた。

その上で

の経緒だ

ヒトラーは言ふ。獨ソの親

月半足らうの中に舉げたのは

あるが、孰れにしても右の

如く輝しい戦果をタック三ヶ

月半足らうの中には同盟通信には

月半足らうの中には

我軍が使用してゐる。この間における捕虜二百五十萬人、はソ聯機關紙に一千門の大砲、九千機の飛行機を失つてゐる」

「ヒトラーの大嘘つきが國民と公表してゐるが、肝心の莫大な損害を蒙る際、ロシアは世界を瞞蔽する演説をしてゐるが、ソ聯損害は死傷に關しては一言も觸れてゐない」

「ヒトラーの例の獅子吼がは

「ヒトラーは思ひ切

は常習犯とみて、我々は萬普

三百萬の死傷者を出し、な

どである。ヒトラーが思ひ切

りは常習犯とみて、我々は萬普

三百萬の死傷者を出し、な

どである。ヒトラーが思ひ切

りは常習犯



